

## 消費者物価指数(全国)の前年同月比の推移



和の政策効果が大きく発揮されず、デフレ状況が長引くことになりました。

景気が低迷し人々がモノを買わなくなれば、モノの値段を下げざるをえません。その呪縛から解放されるよう、これまで物価目標を明確に掲げてこなかった日本銀行は、ここに至り政策転換を行い、デフレ脱却に向け強いアピールをすべく、物価1%の上昇目標を掲げるに至りました。

日本政府も、日本の経済再生にはデフレからの脱却がかかせないとみています。需要の掘り起こしや雇用環境の改善による消費の拡大が見込まれれば、物価は上昇すると想定されますし、同時に経済環境もプラスとなります。

経済環境が良くなれば給料も上がり、それにより消費も段と拡大する。そうした良いサイクルを描くべく、政府、日銀が一体となってデフレ脱却を図ること、国民の不安を払しょくすることが、日本経済を活性化させるための起爆剤といえるのです。

### 伊藤 亮太

(いとう・りょうた)  
スクイヤー・ジャパン 副社長  
CFP®、DCアドバイザー  
証券外務員資格など



証券会社勤務後、2007年11月に独立系FP会社スクイヤー・ジャパンを設立。ライフプランニングの提案、保険の見直し、証券取引所などでの資産運用に関する講演など多方面で活躍。東洋大学経営学部非常勤講師

FP伊藤亮太のサイト <http://www.ryota-ito.jp>  
スクイヤー・ジャパン <http://www.skir.jp>

Illustration つばいひろき



## めざせ1%の物価上昇 インフレ目標で経済はようになる?

日本銀行は2012年2月に開催した金融政策決定会合で、当面1%の物価上昇をめざすインフレ目標を導入しました。

また目標を導入するとともに、国債などの資産を買い入れる基金を10兆円増額する追加の金融緩和を決定した結果、それを金融市場は好感し為替は円安、株価は上昇する結果となりました。ところでこのインフレ目標とは、いったい何なのでしょう。なぜ目標が必要なのかご存じですか?

### 本来は 物価上昇を抑える役割

インフレ目標とは、各国の中央銀行(日本では日本銀行)が望ましいと想定する物価水準を示し、その物価水準を実現するように金融政策を実施することをさします。

もともとは、物価の行き過ぎた上昇を抑えるために導入されたものです。景気がよくなりすぎたなどの理由で、実際の物価が目標よりも高くなった場合に、金利を引き

き上げて企業の設備投資や個人消費を抑え、それが景気に歯止めをかけ物価上昇を封じ込める。

そうした役割をもつのがインフレ目標であり、グローバルで見ても1998年にニュージーランドが採用して以降、現在では20カ国以上が導入しています。

### 日本の場合にはデフレ対策

ところが日本の場合、他国とは状況が異なり、ここ数年、物価が



下落する。デフレーション(デフレ)に見舞われています。

このため日本銀行は、物価下落に歯止めをかけるべく金利を引き下げたり、当座預金残高を増加させるといった金融緩和を積極的に行い、世の中に出回るお金の量を増やして、このデフレ退治に躍起になってきました。

しかしながら日本の経済状況がおもしろくない中、買い控えや海外との製品価格競争、円高、地価下落などに見舞われた結果、金融緩和

### はたして目標達成なるか?

実はインフレ目標は先進国では現状2%が一般的となっており、日本銀行が打ち出した1%はそれと比べれば低い値です。しかしながらこれまでと異なり、目標を数値で明確に打ち出したことに意義があり、物価1%上昇が確実に見込まれるまで、金融緩和と政策が継続されることがはつきりしました。

はたしてインフレ目標に到達することができのかどうか、また到達するために今後、日本銀行はどのような政策をとっていくのか、新聞やテレビのニュースなどでチェックしてみてくださいね。